

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和3年5月24日 ~ 令和4年3月1日
調査研究事項	《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》 《委託研究VI》 <ul style="list-style-type: none">・入学要件・時期に関すること・見学や体験入学などの在り方について・教育課程・指導上の工夫に関すること・生徒一人一人の状況に応じた学習指導の充実について
調査研究のねらい	<p>川崎市立西中原中学校夜間学級には、外国につながるのある者や既卒者による入学希望者が在籍している。今後は入学希望者のニーズも一層多様化することが予測されることから、入学希望者が求める学びについて十分に確認し、必要な支援や多様な教育機会を提供することができるような工夫が必要である。そのため、入学前の見学や体験入学など夜間学級と教育委員会が連携して進めることが重要であると考え。</p> <p>夜間学級に通学している生徒には、日本だけでなく、フィリピン、中国、インド、ネパール、タイ、韓国、スリランカ、チリ等の国籍を持つ生徒がおり、50代の生徒も在籍している。</p> <p>そのため、算数・数学や国語等の基礎的・基本的な学習内容については、日本語を含め、生徒の個々に応じた指導が必要である。生徒の状況に合わせた教材や指導法の在り方について研究し、生徒の資質・能力の伸長を図る。</p> <p>また、体育祭や文化祭などの学校行事など人との関わりを通して、多文化共生について学ぶ機会や日本の伝統的な文化等に触れる機会を設け、多様な文化に対する理解を深めたり、教養を身に付けたりすることをねらいとしていく。</p>
調査研究の成果	<p>外国につながるのある者や既卒者が入学を希望する場合、一人一人の学習状況とニーズを事前に丁寧に把握することが必要となる。そこで、夜間学級で入学前に体験入学を必ず行い、個々の状況を把握し教育委員会と情報を共有した。入学希望者には、教育委員会による事前相談や面談を行ってこれまでの学習状況等を聴き取り、夜間学級と情報共有を行った。それぞれの面談、体験入学での学習状況等から、夜間学級と教育委員会が協議を行い、個</p>

々に応じた入学後のカリキュラム編成等について検討し多様な教育機会を設けることができた。

国語の授業については、日本語の習得状況が十分でない生徒が多く、各学年をグループ分けして、日本語初級者には日本語教材テキストを用いてひらがなや日常会話から学習を進めた。日本語指導については、講師による授業を継続することで、着実に成果が表れた。また、他の教科においても日本語の指導を絡めながら指導を進める必要があり、教員の日本語指導研修を定期的実施し、日本語教育への理解を深め指導の向上を図った。

また、日本の文化を理解するために、講師を招聘しての書道教室を実施した。文化祭等では、自分の国を紹介する場面を設け、多文化共生への理解を深めることができた。